

# 最近の管内経済概況

(2026年3月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動き。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱含んでいる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、有効求人倍率は8か月連続で前年を下回った。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。  
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

2026年5月21日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課  
T E L : 011-709-2311 内線 2525  
E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2026年5月現在)

発表月	2025年12月	2026年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	弱含み	弱含み	弱含み	弱い動き (↘)	弱い動き	弱い動き	
個人消費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	緩やかに改善している (↗)	
観光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	
公共工事	減少した (↘)	減少した	減少した	増加した (↗)	減少した (↘)	増加した (↗)	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	持ち直しの兆しがみられる (↗)	持ち直しの兆しがみられる	弱含んでいる (↘)	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は7か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は8か月連続で前年を下回った	
企業倒産	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

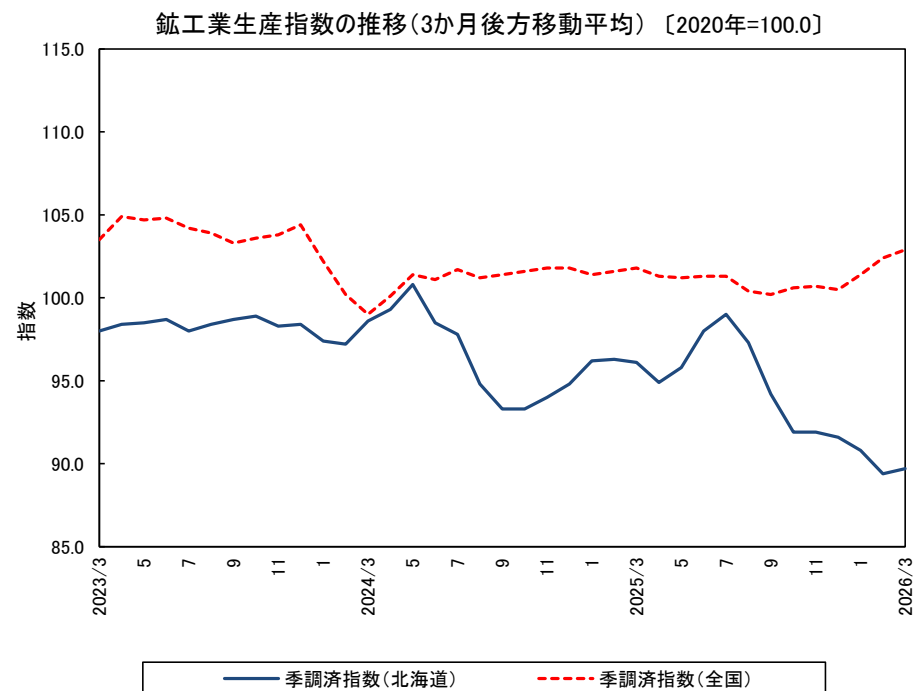
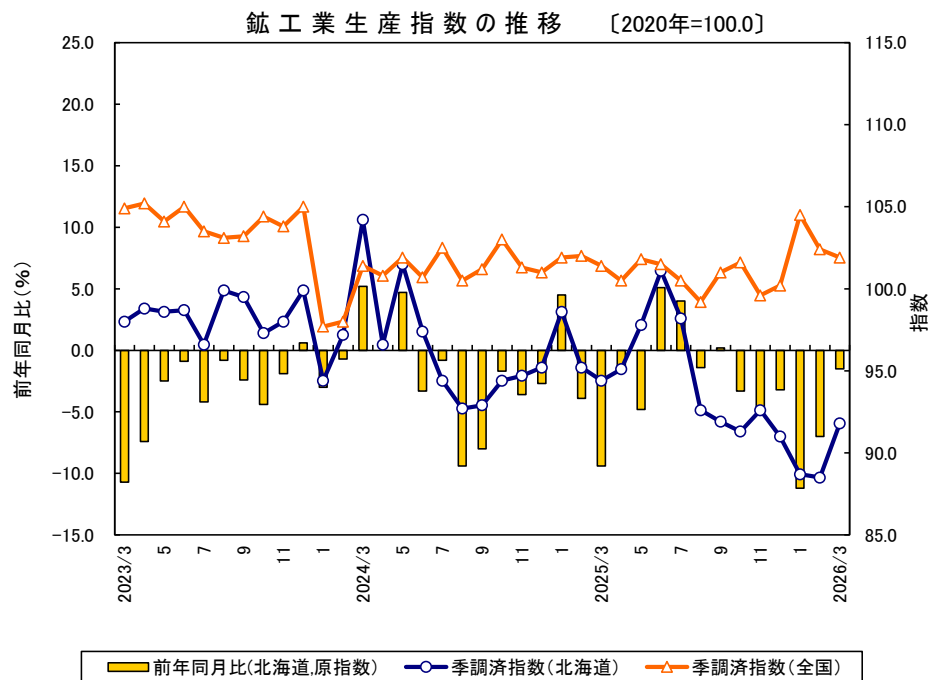
上方修正 据え置き 下方修正

# 生産活動 ～ 弱い動き ～

3月の鉱工業生産は、前月比+3.7%と4か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲1.5%と6か月連続で低下した。上昇業種は、金属製品工業など6業種となった。低下業種は、窯業・土石製品工業など7業種となった。

<3月> 季節調整済指数 北海道（速報） 91.8（前月比+ 3.7%） 全国（速報） 101.9（前月比▲ 0.5%）	
---	--

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 6業種	金属製品工業	+ 42.3	+ 34.6	建設用金属製品
	鉄鋼・非鉄金属工業	+ 13.9	▲ 33.9	鋼半製品
	化学・石油石炭製品工業	+ 5.8	▲ 19.3	化学・石油石炭製品
低下 7業種	窯業・土石製品工業	▲ 15.7	▲ 10.6	セメント・同製品

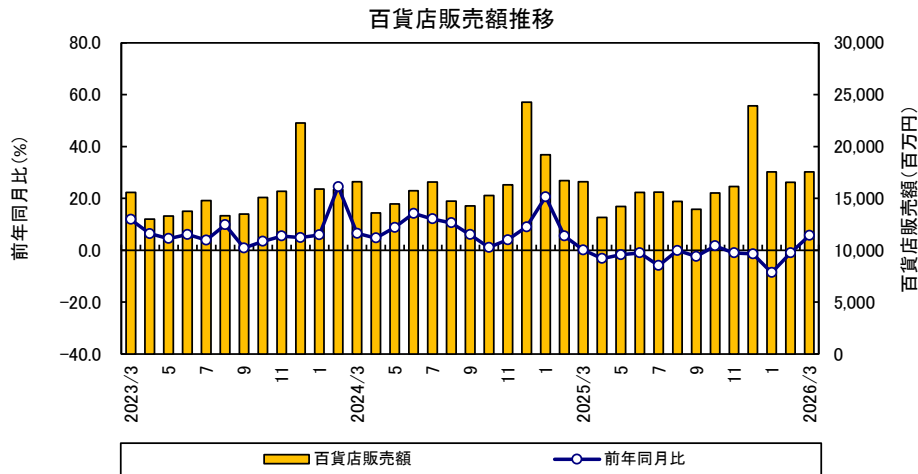


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

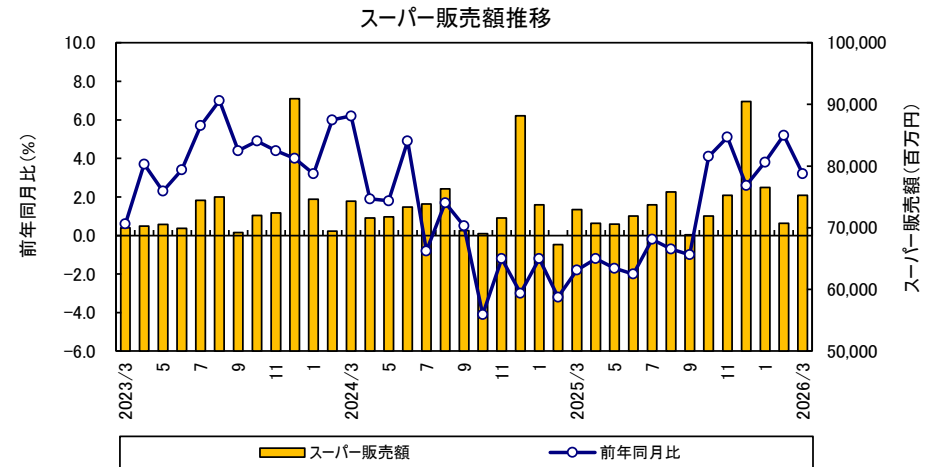
# 個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

3月の個人消費は、新車販売が前年を下回り、他の6業態は前年を上回った。

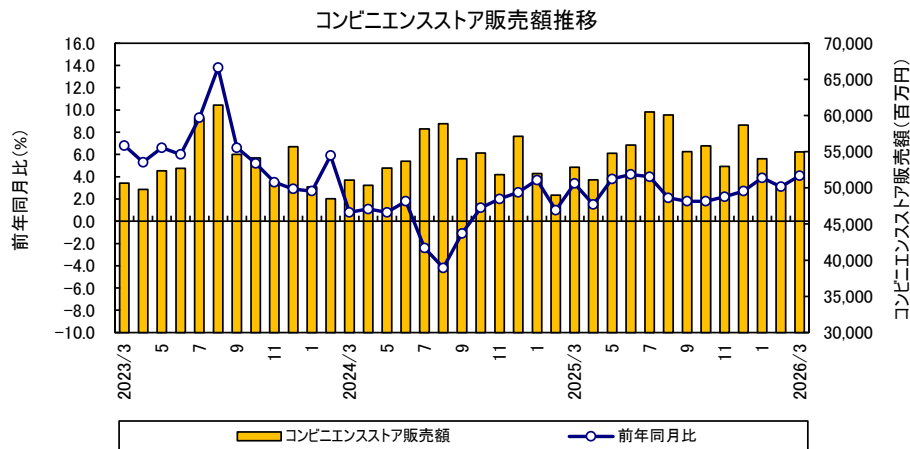
- ・百貨店は、インバウンド客に高級ブランドの商品や化粧品が好調で、前年同月比+5.7%と5か月ぶりに前年を上回った。
- ・スーパーは、割安な商品が好調で、同+3.2%と6か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+4.1%と18か月連続で前年を上回った。



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)



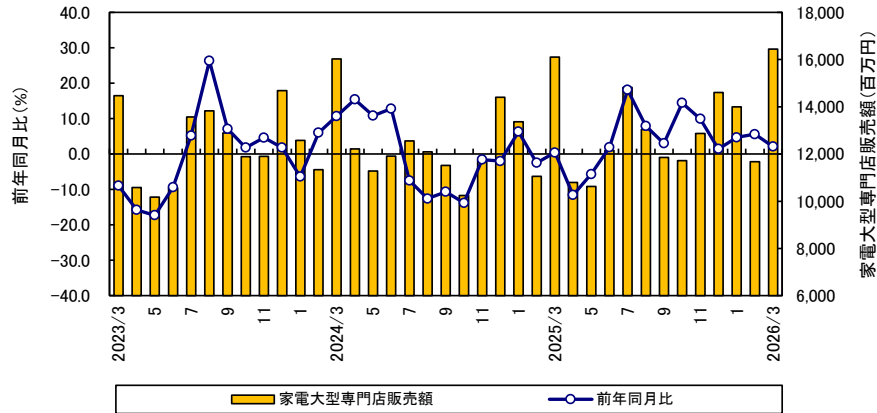
(資料：経済産業省)

## 【ヒアリング内容】

- ・インバウンド客については中国の訪日自粛の影響がみられるものの、円安傾向により高級ブランドの商品や化粧品の売上げが好調だった。また、前年よりも気温が高かったことや、前月動きが鈍かった反動により春物衣料の売上げが前年を上回った。(百貨店)
- ・買上点数は前年を下回った。一方で大容量の商品や増量商品など割安な商品が好調だったほか、前年よりも気温が高かったことから春物衣料が好調で、全体の売上げは前年を上回った。(スーパー)
- ・加熱式たばこの値上げ前の駆け込み需要がみられたほか、値上げにより客単価が上昇したことなどから売上げは前年を上回った。(コンビニエンスストア)

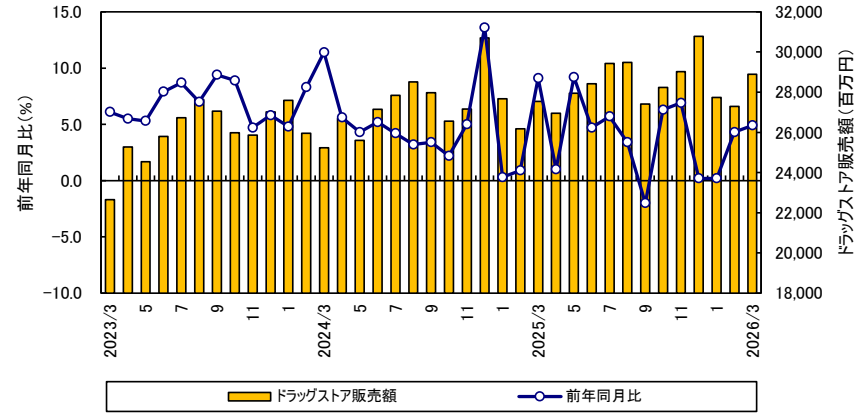
- 家電大型専門店は、同+2.1%と10か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+4.9%と6か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+9.2%と4か月連続で前年を上回った。
- 新車販売は、同▲2.1%と3か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



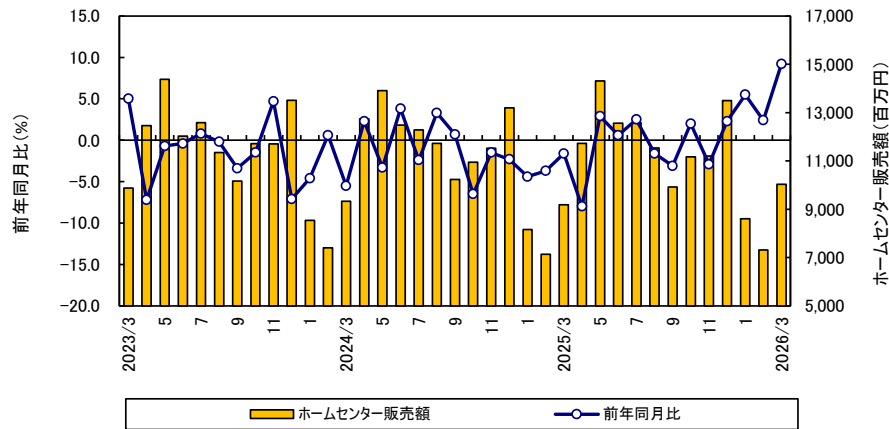
(資料：経済産業省)

ドラッグストア販売額推移



(資料：経済産業省)

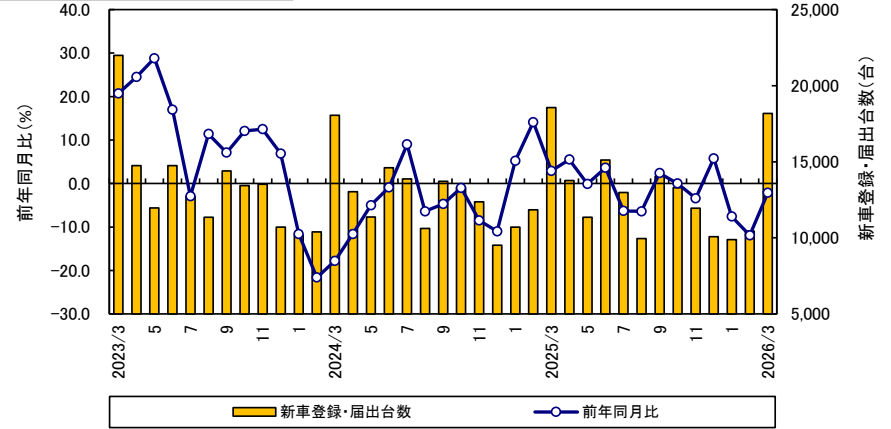
ホームセンター販売額推移



(資料：経済産業省)

<3月> 普通乗用車 ▲ 8.8%  
小型乗用車 ▲ 1.5%  
軽自動車 + 7.5%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

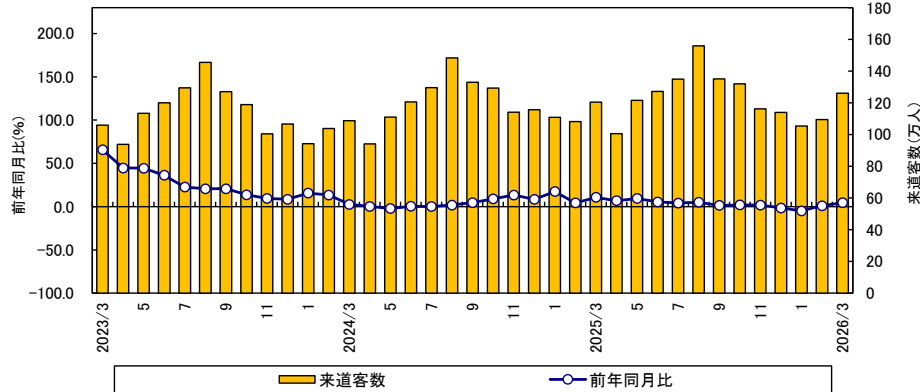
- 2027年度の家庭用エアコンの省エネ基準の厳格化を見越した買い替え需要がありエアコンの売上げが前年を上回った。また、スポーツの国際大会の影響などからテレビの売上げが前年を上回った。(家電大型専門店)
- 前年よりも気温が高く外出する人が多かったからか、メイクアップ商品を中心に化粧品の売上げが好調だった。(ドラッグストア)
- 前年よりも降雪量が少なく気温が高かったことから園芸用品や塗料、自転車など屋外で使用する商品が好調だった。また、重点支援地方交付金により市町村が発行している商品券の効果からか、客数、売上げが前年を上回った。(ホームセンター)

# 観光 ～改善が続いている～

3月の来道客数は、前年同月比+4.6%と2か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+22.2%と45か月連続で前年を上回った。

<3月> 入国者数 200,600人(+22.2%)

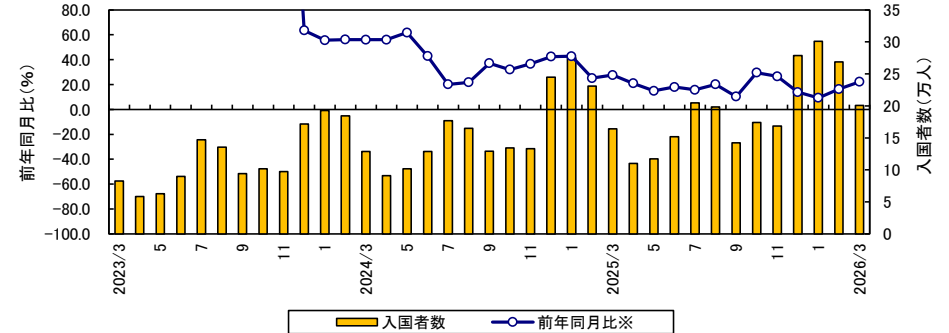
来道客数推移



<3月> 来道客数 1,260,080人(+4.6%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

道内外国人入国者数推移



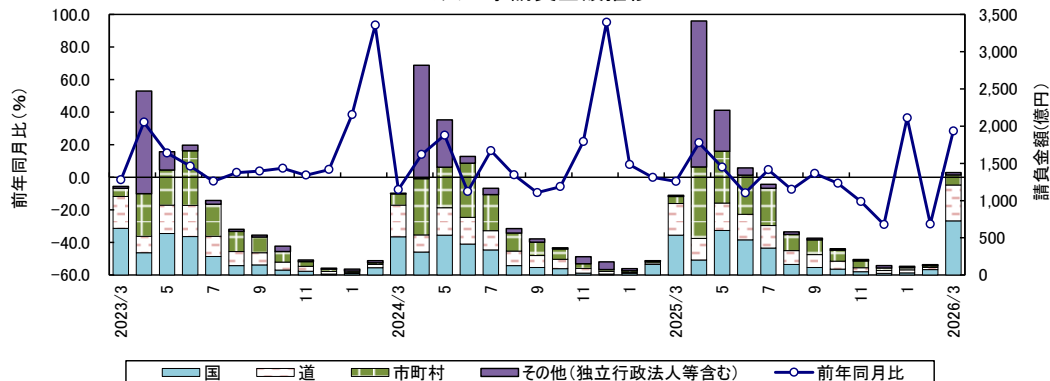
(資料：法務省) ※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・東南アジアからの観光客が増加しており、3月の宿泊客数についても引き続き好調となっている。(観光協会)

# 公共工事 ～増加した～

3月の公共工事請負金額は、国、道、市町村、その他全てで前年を上回り、前年同月比+28.4%と2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額推移



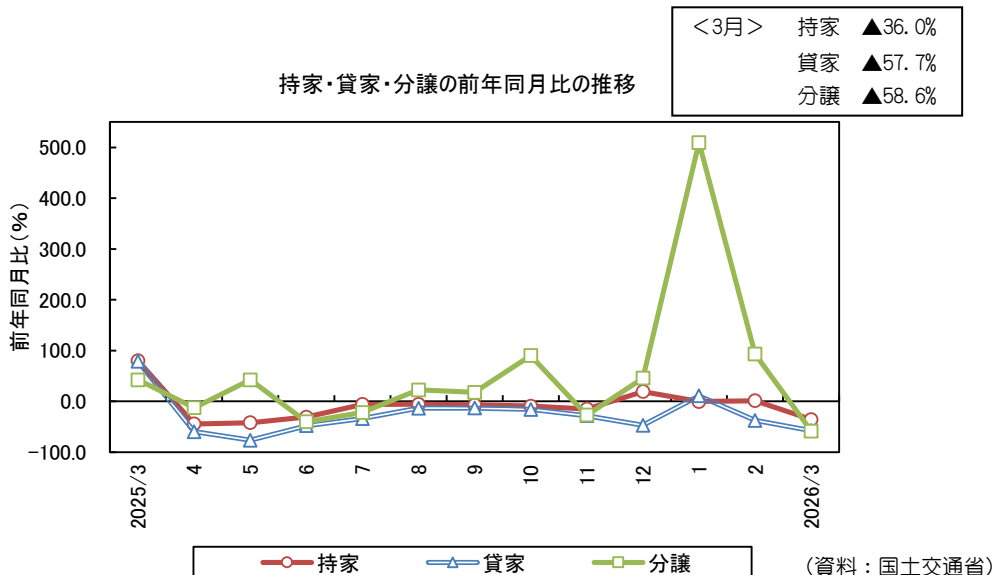
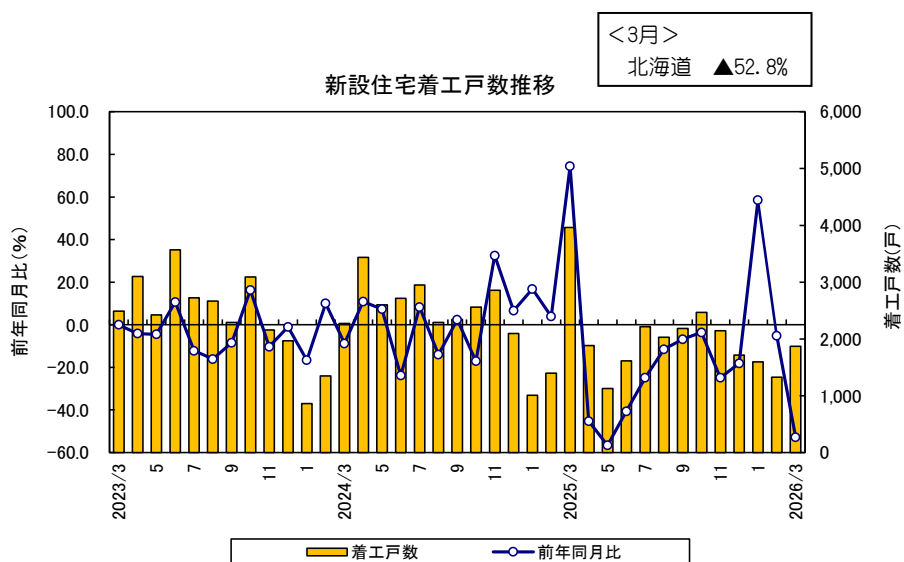
<3月>  
 北海道 +28.4%  
 (内訳)  
 国 +35.5% 道 +13.7% 市町村 +45.2% その他 +71.6%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ~ 弱含んでいる ~

3月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲52.8%と2か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ~ 増加している ~

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+14.0%と4年連続で前年度を上回った。  
 なお、2026年度は前年度を下回る計画となっている。

日経短観の設備投資動向

2026年4月1日発表

	2025年度	2026年度
北海道	+ 14.0%	▲ 11.2%
製造業	+ 21.0%	▲ 1.9%
非製造業	+ 10.6%	▲ 16.1%
全国	+ 7.9%	+ 1.3%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2026年3月12日発表

	2025年度	2026年度
全産業	+ 28.0%	▲ 5.2%
製造業	+ 18.9%	▲ 5.9%
非製造業	+ 31.6%	▲ 5.0%

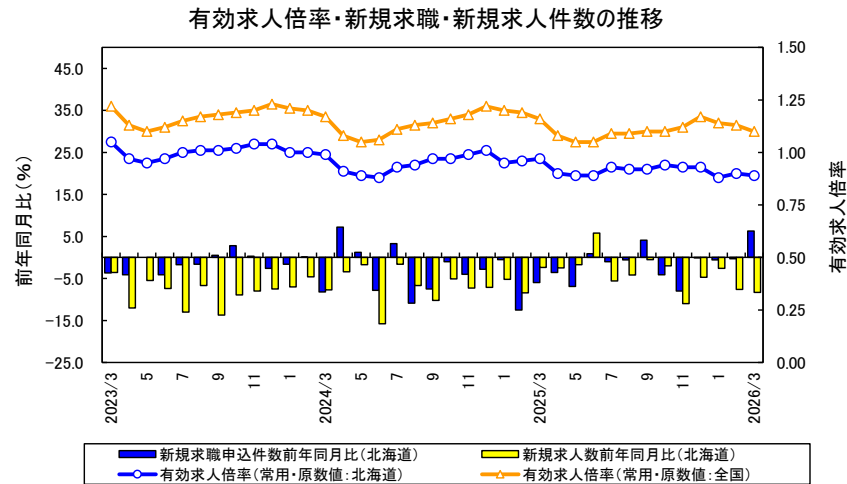
※数値は対前年比増減率。

※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 有効求人倍率は8か月連続で前年を下回った～

3月の有効求人倍率は、0.89倍と前年同月差0.08ポイント低下し、8か月連続で前年を下回った。

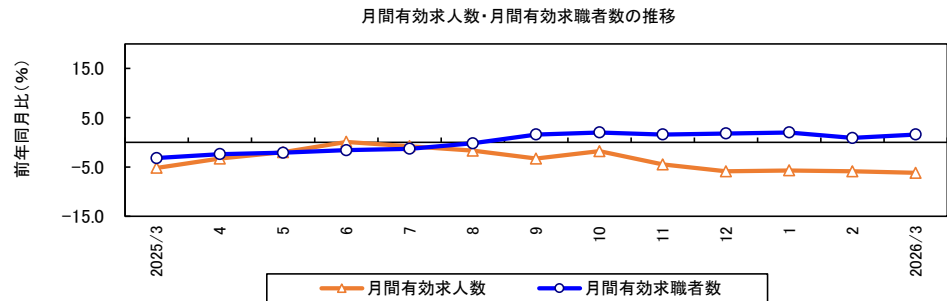


<3月>

北海道	有効求人倍率(常用・原数値)	0.89倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲ 8.3%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+ 6.3%
全国	有効求人倍率(常用・原数値)	1.10倍

<3月>

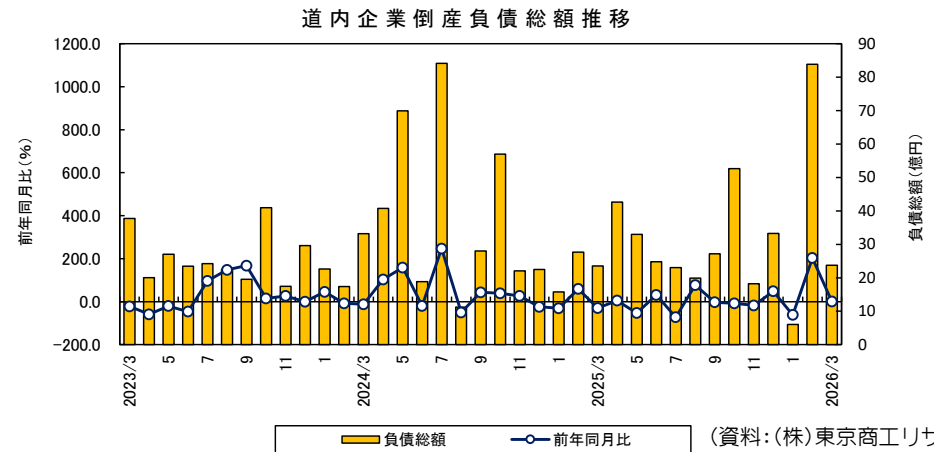
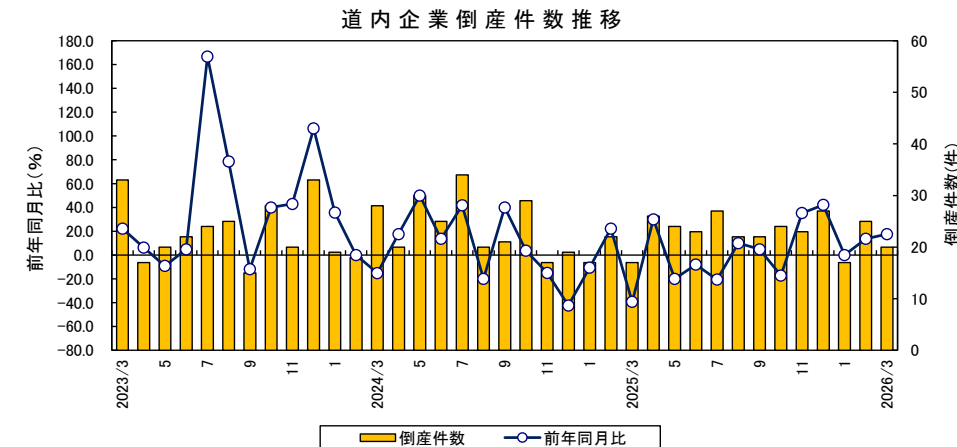
月間有効求人件数(前年同月比)	▲ 6.2%
月間有効求職者数(前年同月比)	+ 1.6%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した～

3月の倒産件数は20件で、前年同月比+17.6% (3件増) と2か月連続で前年を上回った。また、負債総額は23.7億円で、同+0.9%と2か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)